

議員提案政策条例の規定による施策等の実施状況及び成果に関する報告書

1 条例の基本事項

条例の名称	茨城県家庭教育を支援するための条例		
担当課（室）	生涯学習課	公 布 日	平成 28 年 12 月 28 日
報告の根拠	第 21 条 （年次報告）		

2 条例の概要・施策体系図・推進体制等

（１）条例の概要・施策体系図

目 的【第 1 条】

- ・家庭教育支援の基本理念及び実現に必要な事項の制定
- ・家庭教育支援施策の総合的な推進
- ・保護者の成長及び子どもが親になるための学びの促進
- ・生活のために必要な習慣の確立、自立心の育成及び心身の調和のとれた発達に寄与

基本理念【第 3 条】

- ・保護者が子どもの教育に第一義的責任を有する基本的認識
- ・県、市町村、祖父母、学校等、地域住民、地域活動団体、事業者その他関係者が、家庭の自主性を尊重しつつ、それぞれの役割を果たし、相互に協力しての一体的な取組
- ・一人一人の子どもの個性を尊重し、多様な家庭環境に配慮
- ・幼少期の教育が人格形成の基礎を培うため、家庭における小学校就学前の教育に重点

県の責務【第 4 条】

- ・家庭教育支援施策の策定・実施
- ・関係者との連携・協働
- ・保護者及び子どもの障害の状況、保護者の経済状況、その他の家庭状況の多様性への配慮

県の基本的施策

- ・親としての学びの支援【第 12 条】
- ・親になるための学びの推進【第 13 条】
- ・家庭における就学前教育の充実【第 14 条】
- ・幼稚園等に対する就学前教育の支援【第 15 条】
- ・人材養成等【第 16 条】
- ・多様な家庭環境に配慮した支援【第 17 条】
- ・相談体制の整備等【第 18 条】
- ・広報、啓発等【第 19 条】
- ・財政上の措置【第 20 条】
- ・年次報告【第 21 条】
- ・家庭教育を実践する日等【第 22 条】

連携

市町村との連携【第 5 条】

- ・情報の提供、助言その他必要な支援

国との連携【第 6 条】

- ・国に対し必要な施策を要望

保護者の責任及び役割【第 7 条】

- ・子どもの教育について第一義的責任を有することの自覚
- ・子どもに愛情をもって接すること、幼少期における子どもとの安定した愛情の形成及び定着
- ・子どもの個性の尊重、生活のために必要な習慣の確立、自立心の育成及び心身の調和のとれた発達
- ・自らの成長
- ・幼少期の家庭教育の充実
- ・学校等との連携及び協調

祖父母の役割【第 8 条】

- ・子育てに関する知恵及び経験の活用
- ・保護者と連携しながら、家庭教育に対する支援及び協力

学校等の役割【第 9 条】

- ・保護者、地域住民及び地域活動団体との連携
- ・県及び市町村の施策への協力

地域住民及び地域活動団体の役割【第 10 条】

- ・保護者・学校等との連携
- ・地域環境の整備
- ・県及び市町村の施策への協力

事業者の役割【第 11 条】

- ・従業員の仕事及び家庭生活との両立が図られるような雇用環境の整備
- ・県及び市町村の施策への協力

(2) 条例制定後の主な取組

1 茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプランの策定

平成28年3月 「いばらき教育プラン」の策定

「子どもたちの自主性・自立性を育もう」をテーマとして掲げ、特に生涯にわたる人格形成の基礎を培う乳幼児期において、就学前教育・家庭教育の推進を最優先で取り組むこととした。

平成28年12月 「茨城県家庭教育を支援するための条例」が公布・施行

県民が一体となって、幼少期を中心とする家庭教育の方向が示された。

平成29年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進ビジョン」を策定

就学前教育・家庭教育の目標や幼児期に育ってほしい子どもの姿などを示した。

平成30年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」を策定

「茨城県就学前教育・家庭教育推進ビジョン」で示した方向性を関係者間で共有し、社会全体で就学前教育及び家庭教育をより一層推進するための具体的な計画を示した。

令和4年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」(令和4～7年度)を策定(改定)

令和8年3月 「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」(令和8～11年度)を策定(改定)

2 条例制定時に課題とされた事項に係る調査結果等(「茨城県就学前教育・家庭教育推進アクションプラン」の進捗状況調査より)

【施策1】

○家庭教育推進協議会を設置している市町村の割合 (単位：%)

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
設置市町村	50.0	50.0	54.5	59.1	61.4	63.6	65.9

【施策3】

○家庭教育支援チーム(文部科学省)の登録数 (単位：団体)

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
登録団体数	22	24	24	34	39	42	43

【施策4】

○訪問型家庭教育支援に取り組む市町村数 (単位：市町村)

	R 1	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7
実施市町村数	17	17	21	23	26	28	29

3 条例の規定による事業等の実施状況及び成果並びに今後の取組

(1) 親としての学びの支援<第12条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]								
			今年度 当初予算額 [千円]								
【前年度の実施状況及び成果】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	<実施状況> 1 家庭教育支援ポータルサイトや家庭教育支援資料等による学びの機会と情報の提供 家庭教育支援ポータルサイト「家庭教育応援ナビ」への保護者の興味関心の高い内容や子どもの発達段階に応じた家庭教育支援資料等の掲載、SNSによる情報発信等を行うとともに、家庭教育支援資料等の家庭教育学級・講座等での活用・周知を図った。 ・「家庭教育応援ナビ」年間アクセス回数 309,786回 2 家庭教育学級・講座の実施 幼児教育施設・学校・社会教育施設等において家庭教育学級・講座を開催したほか、県内4経済団体（茨城産業会議）と連携し、企業において家庭教育学級や子育て・家庭教育に関する情報提供を実施した。 <table><tr><th>実施区分</th><th>開催回数</th></tr><tr><td>幼児教育施設・学校・社会教育施設等</td><td>2,719回</td></tr><tr><td>企業</td><td>66回</td></tr><tr><td>合計</td><td>2,785回</td></tr></table> <成果> 「家庭教育応援ナビ」掲載情報の充実及び活用、家庭教育学級の実施等により、子育てや家庭教育に関する学びの機会や情報を提供し、家庭の教育力の向上に寄与することができた。 （教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室）	実施区分	開催回数	幼児教育施設・学校・社会教育施設等	2,719回	企業	66回	合計	2,785回	1,557 (県単)
実施区分	開催回数										
幼児教育施設・学校・社会教育施設等	2,719回										
企業	66回										
合計	2,785回										
【今後の取組】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	家庭教育の重要性を啓発するため、「家庭教育応援ナビ」や子どもの発達段階に応じた家庭教育支援資料を活用し、市町村やPTA、企業等と連携・協力した家庭教育支援を実施する。	3,163 (国補)								
【前年度の実施状況及び成果】 地域で支える	県	<実施状況> 地域の多様な人材を活用した家庭教育支援チームが、各市町村において訪問型家庭教育支援や保護	9,367 (国補)								

家庭の教育力 向上事業		者への学びの提供などを行った。				
		市町村名	チーム数	市町村名	チーム数	
		水戸市	3	牛久市	1	
		ひたちなか市	1	つくば市	6	
		常陸大宮市	1	稲敷市	1	
		那珂市	1	美浦村	1	
		小美玉市	1	河内町	1	
		大洗町	1	古河市	1	
		日立市	1	結城市	2	
		高萩市	1	下妻市	1	
		鹿嶋市	1	常総市	1	
		潮来市	1	筑西市	2	
		行方市	1	坂東市	3	
		鉾田市	1	桜川市	1	
		土浦市	2	八千代町	1	
		石岡市	1	五霞町	1	
		取手市	2	境町	1	
		合計			43	
		<成果> 家庭教育支援チームの設立・登録の働きかけにより、県内半数以上の30市町村において、家庭教育支援チームによる保護者の学びの機会や情報の提供、相談への対応等を行うことができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)				
		【今後の取組】 地域で支える 家庭の教育力 向上事業	県	家庭教育支援チームの活動を通じて、地域の実情に応じた家庭教育支援の充実を図る。また、文部科学省への家庭教育支援チームの登録により、地域における家庭教育支援に関する基盤づくりを推進する。		11,059 (国補)
【前年度の実 施 状 況 及 び 成果】 県立青少年教育施設指定管 理者指定事業	県	<実施状況> 1 未来を担う青少年育成(アクティブ・チャレンジ)事業				—
		施設名	事業名	内容	参加者数	
		中央青年の家	子ども農業スクールin中央青年の家～苗植え体験～	自然体験活動	12人	
			子ども農業スクールin中央青年の家～収穫体験～	自然体験活動	12人	
		さしま少年自然の家	防災キャンプ～災害時に自分と家族を守る方法を学ぼう～	ハザードマップ・段ボールハウスづくり、非常食体験	27人	
		合計			51人	
		2 地域と施設をつなぐプラットフォーム構築事業				
		施設名	事業名	内容	参加者数	
		中央青年の家	“自然はともだち”乳幼児からのはじめてキャンプ	自然体験活動 創作活動 星座観察	35人	

		<table> <tr> <td rowspan="3">中央青年の家</td><td>フレンドシップキャンプ～インクルーシブ教育～</td><td>自然体験活動 ゲーム 模擬キャンプ</td><td>114人</td></tr> <tr> <td>エンジョイDAYキャンプ～非日常で深めるキズナから</td><td>創作活動 野外体験活動</td><td>20人</td></tr> <tr> <td>学校へいきにくくなった子と家族のための親子キャンプ～今を感じよう・今を楽しもう～</td><td>保護者座談会 創作活動 自然体験活動</td><td>4人</td></tr> <tr> <td rowspan="4">さしま少年自然の家</td><td>パパ＆ママ交流!!～幼児からの始めてキャンプ～</td><td>遊び活動 子育て相談会 室内テント泊 創作活動</td><td>31人</td></tr> <tr> <td>家族間交流!!親子でさしまっ子キャンプ</td><td>保護者交流会 野外炊事 創作活動</td><td>56人</td></tr> <tr> <td>エンジョイキャンプ～自然の中での泊り体験～</td><td>創作活動 野外体験活動</td><td>16人</td></tr> <tr> <td>交流Dayキャンプ～非日常体験!～</td><td>室内キャンプ 野外活動 創作活動</td><td>114人</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>390人</td></tr> </table> <成果> 性別、年齢、障害の有無に関わらず、多様な人々を対象とした体験活動を通して、子どもたちの体験活動の充実と親子の触れ合いの機会を提供することができた。また、計画的な広報により、前年度比約3倍の参加者数となった。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	中央青年の家	フレンドシップキャンプ～インクルーシブ教育～	自然体験活動 ゲーム 模擬キャンプ	114人	エンジョイDAYキャンプ～非日常で深めるキズナから	創作活動 野外体験活動	20人	学校へいきにくくなった子と家族のための親子キャンプ～今を感じよう・今を楽しもう～	保護者座談会 創作活動 自然体験活動	4人	さしま少年自然の家	パパ＆ママ交流!!～幼児からの始めてキャンプ～	遊び活動 子育て相談会 室内テント泊 創作活動	31人	家族間交流!!親子でさしまっ子キャンプ	保護者交流会 野外炊事 創作活動	56人	エンジョイキャンプ～自然の中での泊り体験～	創作活動 野外体験活動	16人	交流Dayキャンプ～非日常体験!～	室内キャンプ 野外活動 創作活動	114人	合計			390人	
中央青年の家	フレンドシップキャンプ～インクルーシブ教育～	自然体験活動 ゲーム 模擬キャンプ		114人																										
	エンジョイDAYキャンプ～非日常で深めるキズナから	創作活動 野外体験活動		20人																										
	学校へいきにくくなった子と家族のための親子キャンプ～今を感じよう・今を楽しもう～	保護者座談会 創作活動 自然体験活動	4人																											
さしま少年自然の家	パパ＆ママ交流!!～幼児からの始めてキャンプ～	遊び活動 子育て相談会 室内テント泊 創作活動	31人																											
	家族間交流!!親子でさしまっ子キャンプ	保護者交流会 野外炊事 創作活動	56人																											
	エンジョイキャンプ～自然の中での泊り体験～	創作活動 野外体験活動	16人																											
	交流Dayキャンプ～非日常体験!～	室内キャンプ 野外活動 創作活動	114人																											
合計			390人																											
【今後の取組】 県立青少年教育施設指定管理者指定事業	県	各事業内容をブラッシュアップし、より効果的な内容構成や手法を取り入れ、子どもの体験活動の充実や保護者の学びを推進する。	—																											
【前年度の実施状況及び成果】 県立青少年教育施設指定管理者自主事業	県	<実施状況> <table> <tr> <th>施設名</th><th>事業名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr> <tr> <td rowspan="2">中央青年の家</td><td>家族でDIY工作教室～「ものづくり」の楽しさ体験～</td><td>木工創作活動、発表会</td><td>27人</td></tr> <tr> <td>親子星座観察会～外部講師の講座＆ハイスペック望遠鏡観察～</td><td>講義、観察会、発表会</td><td>14人</td></tr> <tr> <td rowspan="3">さしま少年自然の家</td><td>親子星座観察会(夏季)～家族で夜空を見上げてみよう～</td><td>講義、観察会、発表会</td><td>40人</td></tr> <tr> <td>親子星座観察会(冬季)～家族で夜空を見上げてみよう～</td><td>講義、観察会、発表会</td><td>50人</td></tr> <tr> <td>AR謎解きゲームウォークラリー</td><td>屋内活動、屋外活動</td><td>35人</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>166人</td></tr> </table>	施設名	事業名	内容	参加者数	中央青年の家	家族でDIY工作教室～「ものづくり」の楽しさ体験～	木工創作活動、発表会	27人	親子星座観察会～外部講師の講座＆ハイスペック望遠鏡観察～	講義、観察会、発表会	14人	さしま少年自然の家	親子星座観察会(夏季)～家族で夜空を見上げてみよう～	講義、観察会、発表会	40人	親子星座観察会(冬季)～家族で夜空を見上げてみよう～	講義、観察会、発表会	50人	AR謎解きゲームウォークラリー	屋内活動、屋外活動	35人	合計			166人	—		
施設名	事業名	内容	参加者数																											
中央青年の家	家族でDIY工作教室～「ものづくり」の楽しさ体験～	木工創作活動、発表会	27人																											
	親子星座観察会～外部講師の講座＆ハイスペック望遠鏡観察～	講義、観察会、発表会	14人																											
さしま少年自然の家	親子星座観察会(夏季)～家族で夜空を見上げてみよう～	講義、観察会、発表会	40人																											
	親子星座観察会(冬季)～家族で夜空を見上げてみよう～	講義、観察会、発表会	50人																											
	AR謎解きゲームウォークラリー	屋内活動、屋外活動	35人																											
合計			166人																											

		<成果> 外部講師や各プログラムの手立てを吟味し、親子が楽しく活動しながら家庭教育力を向上できる場を提供することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課)																				
【今後の取組】 県立青少年教育施設指定管理者自主事業	県	実施時期や内容を精査して、より効果的に子どもの自主性・自立性の育成や、親子の触れ合いや絆を深める機会を提供する。	—																			
【前年度の実施状況及び成果】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th><th>事業名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>水戸生涯学習センター</td><td>地域連携協働事業創出事業「みんなの子育て応援事業」</td><td>プレ企画、事例発表・シンポジウム、家庭教育学級合同講演会、こども・子育てフェスタ</td><td>延べ 2,487人 116団体</td></tr> <tr> <td rowspan="2">鹿行生涯学習センター</td><td>地域連携協働事業創出事業「JOBフェスタ」</td><td>小学生の親子を中心に、キャリアに関する体験ブースや講座及びバザー、展示を実施</td><td>延べ 1,952人</td></tr> <tr> <td>現代的課題対策講座「誰とでも笑顔でコミュニケーション！話の聞き方・言葉のかけ方講座」</td><td>対人スキルに悩みを抱える人に、時と場及び相手に応じたコミュニケーションの取り方を学ぶ機会を提供</td><td>延べ 50人</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>延べ 4,489人</td></tr> </tbody> </table> <成果> 様々な体験活動や講演会等をとおして、親としての子どもとの関わり方を学んだり、家庭教育の重要性を実感したりする機会となった。 また、参加者同士がネットワークを構築する機会を提供することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	施設名	事業名	内容	参加者数	水戸生涯学習センター	地域連携協働事業創出事業「みんなの子育て応援事業」	プレ企画、事例発表・シンポジウム、家庭教育学級合同講演会、こども・子育てフェスタ	延べ 2,487人 116団体	鹿行生涯学習センター	地域連携協働事業創出事業「JOBフェスタ」	小学生の親子を中心に、キャリアに関する体験ブースや講座及びバザー、展示を実施	延べ 1,952人	現代的課題対策講座「誰とでも笑顔でコミュニケーション！話の聞き方・言葉のかけ方講座」	対人スキルに悩みを抱える人に、時と場及び相手に応じたコミュニケーションの取り方を学ぶ機会を提供	延べ 50人	合計			延べ 4,489人	—
施設名	事業名	内容	参加者数																			
水戸生涯学習センター	地域連携協働事業創出事業「みんなの子育て応援事業」	プレ企画、事例発表・シンポジウム、家庭教育学級合同講演会、こども・子育てフェスタ	延べ 2,487人 116団体																			
鹿行生涯学習センター	地域連携協働事業創出事業「JOBフェスタ」	小学生の親子を中心に、キャリアに関する体験ブースや講座及びバザー、展示を実施	延べ 1,952人																			
	現代的課題対策講座「誰とでも笑顔でコミュニケーション！話の聞き方・言葉のかけ方講座」	対人スキルに悩みを抱える人に、時と場及び相手に応じたコミュニケーションの取り方を学ぶ機会を提供	延べ 50人																			
合計			延べ 4,489人																			
【今後の取組】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	子育てに役立つ知識や手法など、保護者のニーズを捉え、事業の企画・運営に反映させていく。 また、多様な主体や地域との連携強化、情報共有等を通じて、地域ぐるみでの家庭教育における保護者への支援を図る。	—																			
【前年度の実施状況及び成果】 県生涯学習センター	県	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th><th>事業名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北生涯学習センター</td><td>親子でお星さま鑑賞会</td><td>星の観察</td><td>延べ 40人</td></tr> </tbody> </table>	施設名	事業名	内容	参加者数	県北生涯学習センター	親子でお星さま鑑賞会	星の観察	延べ 40人	—											
施設名	事業名	内容	参加者数																			
県北生涯学習センター	親子でお星さま鑑賞会	星の観察	延べ 40人																			

ンター指定管理者自主事業		ター	センターフェスティバル	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを設置	延べ 4,292人
			プログラミング教室	スクラッチ「ゲーム」を改造して楽しもう！	延べ 48人
			親子で学ぶお魚料理教室	親子で鰹を使った料理作りを体験	24人
		鹿行生涯学習センター	男女共同参画事業「副島淳氏（俳優・タレント）講演会」	男女共同参画社会の実現に資するための講演会を開催	延べ 197人
			児童・青少年健全育成事業「わくわくデザイン！今日からガラスアート職人」	子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、ガラスアートに取り組むワークショップを開催	延べ 113人
			児童探究サポート事業「レイクエコーでラーケーション！サイエンスを学ぶ2日間」	児童の体験的・探究的な学びの機会を提供するため、ラーケーション対応事業を実施	延べ 21人
		県南生涯学習センター	親子プログラミング体験講座	Scratchを使いプログラミングを親子で体験	延べ 74組 148人
		合計			延べ 4,883人
		<成果> 学びをとおして子育てに関する知識や理解を深めるとともに、親子が触れ合う機会を創出することができた。 （教育庁総務企画部生涯学習課）			

【今後の取組】 県生涯学習センター指定管理者自主事業	県	引き続き、体験活動を通じた親子の触れ合いの機会を創出していくとともに、継続的に講座や交流会等を開催し、家庭教育に関する保護者への支援を図っていく。	—
-------------------------------	---	---	---

【前年度の実施状況及び成果】 非行防止教室の実施	県	<実施状況> <table><tr><td></td><td>保育所幼稚園</td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>高等学校</td><td>その他学校等</td><td>合計</td></tr><tr><td>実施回数</td><td>2回</td><td>386回</td><td>165回</td><td>103回</td><td>70回</td><td>726回</td></tr></table>							保育所幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他学校等	合計	実施回数	2回	386回	165回	103回	70回	726回	—
			保育所幼稚園	小学校	中学校	高等学校	その他学校等	合計														
		実施回数	2回	386回	165回	103回	70回	726回														
<成果> 非行防止教室において、インターネットの利便性の陰に潜む危険性やフィルタリングの重要性、薬物乱用の危険性や有害性を呼びかけることにより、少年の非行防止、健全育成を図ることができた。 （警察本部生活安全部人身安全少年課）																						

【今後の取組】 非行防止教室 の実施	県	子どもや保護者を対象に、子どもの発達段階に応じた非行防止教室（薬物乱用防止教室を含む。）を実施し、非行防止、健全育成を図る。	—
--------------------------	---	--	---

（２）親になるための学びの推進＜第 13 条関係＞

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 ライフデザイン形成支援事業・高校生のライフデザインセミナー	県	＜実施状況＞ 高等学校28校においてNPO等と連携し、「赤ちゃんふれあい体験授業」を開催した。また、高等学校5校において、外部講師によるライフデザインに関する講演会を開催した。 【赤ちゃんふれあい体験授業開催校】 実施校 28校 参加者数 2,431人 【外部講師による講演開催校】 実施校 5校 参加者数 562人 ＜成果＞ 直接、赤ちゃんに触れ合う体験により、高校生に「子育てに良い印象がもてた」「子育ては楽しい」という意識をもってもらうことができた。 また、外部講師による講演において、「自分の人生を考えるきっかけになった」「子どもができたらず育てをしながら仕事をしたい」など、前向きな意識を醸成することができた。 （福祉部子ども政策局 少子化対策課）	4,020 (国補)
【今後の取組】 ライフデザイン形成支援事業・高校生のライフデザインセミナー	県	進学や就職等、自分の将来について考える時期である高校生を対象に、ライフデザインセミナーを開催することにより、結婚や出産、子育てに対するポジティブな意識を醸成し、進学・就職後のライフデザインの形成を支援する。	4,340 (国補)

（３）家庭における就学前教育の充実＜第 14 条関係＞

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]

【前年度の実施状況及び成果】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、3ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	1,557 (県単)																				
【今後の取組】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	【再掲】 今後の取組については、3ページ参照。	3,163 (国補)																				
【前年度の実施状況及び成果】 県立青少年教育施設指定管理者指定事業	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、4ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	—																				
【今後の取組】 県立青少年教育施設指定管理者指定事業	県	【再掲】 今後の取組については、5ページ参照。	—																				
【前年度の実施状況及び成果】 県生涯学習センター指定管理者自主事業	県	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th><th>事業名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県北生涯学習センター</td><td>センターフェスティバル</td><td>未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを設置</td><td>延べ 4,292人</td></tr> <tr> <td>県南生涯学習センター</td><td>エンジョイホリデー</td><td>未就学児及び低学年の親子を対象に、季節の工作、折り紙、パルーンアートの体験</td><td>延べ 140人</td></tr> <tr> <td>県西生涯学習センター</td><td>「乳幼児からの♪英語とふれあうリトミック&コンサート」</td><td>親子で触れ合ったり体を動かしたりしながら、英語の曲や親しみのある音楽の生演奏を楽しむ。同じ世代の子どもを持つ保護者同士が交流できる場所を提供する。</td><td>46人</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>4,478人</td></tr> </tbody> </table> <成果> 就学前の子とその親を対象とした体験的な事業を実施することにより、親子の触れ合いや学びの機会を増やすなど、家庭教育支援の一助となった。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	施設名	事業名	内容	参加者数	県北生涯学習センター	センターフェスティバル	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを設置	延べ 4,292人	県南生涯学習センター	エンジョイホリデー	未就学児及び低学年の親子を対象に、季節の工作、折り紙、パルーンアートの体験	延べ 140人	県西生涯学習センター	「乳幼児からの♪英語とふれあうリトミック&コンサート」	親子で触れ合ったり体を動かしたりしながら、英語の曲や親しみのある音楽の生演奏を楽しむ。同じ世代の子どもを持つ保護者同士が交流できる場所を提供する。	46人	合計			4,478人	—
施設名	事業名	内容	参加者数																				
県北生涯学習センター	センターフェスティバル	未就学児及び小学低学年の親子を対象に、様々な体験ブースを設置	延べ 4,292人																				
県南生涯学習センター	エンジョイホリデー	未就学児及び低学年の親子を対象に、季節の工作、折り紙、パルーンアートの体験	延べ 140人																				
県西生涯学習センター	「乳幼児からの♪英語とふれあうリトミック&コンサート」	親子で触れ合ったり体を動かしたりしながら、英語の曲や親しみのある音楽の生演奏を楽しむ。同じ世代の子どもを持つ保護者同士が交流できる場所を提供する。	46人																				
合計			4,478人																				
【今後の取組】 県生涯学習センター指定管理者自主事業	県	県生涯学習センターにおいて、引き続き就学前の子とその親を対象とした体験的な講座を開催し、就学前の子の学びの充実と家庭教育に関する親の理解の深化を図る。	—																				

(4) 幼稚園等に対する就学前教育の支援<第15条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]						
			今年度 当初予算額 [千円]						
【前年度の実施状況及び成果】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	<実施状況> 1 市町村幼児教育担当者研修の開催 幼児教育と小学校教育との円滑な接続を図るため、市町村の幼児教育アドバイザー等の資質向上及び管理職の理解促進を図るための研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>幼児教育の理解、保幼小の架け橋プログラム推進に関する講義（管理職向け動画配信含む）、情報交換、実践事例発表等</td><td>3回</td><td>888人</td></tr></table>	研修内容	回数	参加者数	幼児教育の理解、保幼小の架け橋プログラム推進に関する講義（管理職向け動画配信含む）、情報交換、実践事例発表等	3回	888人	1,557 (県単)
		研修内容	回数	参加者数					
幼児教育の理解、保幼小の架け橋プログラム推進に関する講義（管理職向け動画配信含む）、情報交換、実践事例発表等	3回	888人							
2 保幼小接続担当者研修の開催 幼児教育施設及び小学校において架け橋カリキュラムの作成・実施に携わる保育者及び教員等の資質向上のための研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>幼児教育の理解及び特別支援教育における保幼小接続の質の向上、架け橋カリキュラムの作成・実施に関する講義(動画配信含む)、グループ協議、実践事例発表等</td><td>4回</td><td>3,780人</td></tr></table>	研修内容	回数	参加者数	幼児教育の理解及び特別支援教育における保幼小接続の質の向上、架け橋カリキュラムの作成・実施に関する講義(動画配信含む)、グループ協議、実践事例発表等	4回	3,780人			
研修内容	回数	参加者数							
幼児教育の理解及び特別支援教育における保幼小接続の質の向上、架け橋カリキュラムの作成・実施に関する講義(動画配信含む)、グループ協議、実践事例発表等	4回	3,780人							
【今後の取組】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	3 「家庭教育応援ナビ」の活用による園内・校内研修支援 「家庭教育応援ナビ」に動画・資料を掲載した。 【掲載資料】 ・就学前教育・家庭教育推進動画・資料 ・保幼小接続関係研修資料及び実践事例 ・架け橋カリキュラム作成ガイドブック ・「茨城の幼児教育」 等 <成果> 各研修により、市町村における保幼小接続への組織的な取組を推進するとともに、幼児教育施設・小学校における接続の質の向上や架け橋カリキュラムの作成・実施等につなげることができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	3,163 (国補)						
		保育と教育の質の向上を図るとともに、市町村や学校区において架け橋カリキュラムの策定・実施・改善に関わる人材を育成する。							

(5) 人材養成等<第16条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]												
			今年度 当初予算額 [千円]												
【前年度の実施状況及び成果】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	<実施状況> ○家庭教育学級実践研修の開催 家庭教育推進員等の資質向上のための研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>保護者同士のつながりを意識した家庭教育学級運営に関する講義、グループワーク</td><td>2回</td><td>94人</td></tr></table> <成果> 市町村の家庭教育学級等で活用できる具体的な手法を学ぶとともに、研修後に他地区での実践を参観する機会を設定したことにより、理解促進を図ることができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	研修内容	回数	参加者数	保護者同士のつながりを意識した家庭教育学級運営に関する講義、グループワーク	2回	94人	1,557 (県単)						
研修内容	回数	参加者数													
保護者同士のつながりを意識した家庭教育学級運営に関する講義、グループワーク	2回	94人													
【今後の取組】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	市町村やPTA等と連携・協力し、家庭教育を推進する人材の育成と活用により、個々の保護者に対して、子育てに関する情報提供や家庭教育の重要性を啓発し、家庭の教育力の向上を図る。	3,163 (国補)												
【前年度の実施状況及び成果】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	<実施状況> 1 市町村家庭教育支援担当者研修の開催 市町村家庭教育支援担当者を対象に、家庭教育支援関連事業を企画、運営するための資質・技能を高めるための研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>保護者の立場に寄り添った家庭教育支援等に関する講義、実践発表、情報交換及び地区別による家庭教育学級参観</td><td>3回</td><td>150人</td></tr></table> 2 家庭教育関係基礎研修の開催 市町村の家庭教育推進員や訪問型家庭教育支援員等を対象に、家庭教育を支援するための資質・技能を習得するため動画配信による研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>家庭教育支援に必要な知識や技能、現代的な課題等に関する講義</td><td>2回</td><td>766人</td></tr></table>	研修内容	回数	参加者数	保護者の立場に寄り添った家庭教育支援等に関する講義、実践発表、情報交換及び地区別による家庭教育学級参観	3回	150人	研修内容	回数	参加者数	家庭教育支援に必要な知識や技能、現代的な課題等に関する講義	2回	766人	9,367 (国補)
研修内容	回数	参加者数													
保護者の立場に寄り添った家庭教育支援等に関する講義、実践発表、情報交換及び地区別による家庭教育学級参観	3回	150人													
研修内容	回数	参加者数													
家庭教育支援に必要な知識や技能、現代的な課題等に関する講義	2回	766人													

		3 訪問型家庭教育支援員資質向上研修の開催 市町村の訪問型家庭教育支援体制の構築・充実及び訪問型家庭教育支援員の資質向上を図るための研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>保護者対応における傾聴・共感の姿勢、支援家庭の状況把握・必要情報の伝達能力の習得等に関する講義・事例検討・意見交換</td><td>3回</td><td>143人</td></tr></table> 4 外国籍家庭支援研修の開催 増加する外国籍家庭の保護者からの相談に対応できる支援員を育成するための研修を行った。 <table><tr><th>研修内容</th><th>回数</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>外国籍家庭の実態や課題の理解、やさしい日本語の活用や学校・行政と連携した支援等に関する講義、事例検討実践発表等</td><td>3回</td><td>100人</td></tr></table> <成果> 各研修を通して、各市町村の取組の成果や課題を把握し、支援に必要な資質・技能を高めることにより、市町村における家庭教育支援施策に活かすことができたほか、グループワークや情報交換の機会を設けたことにより、家庭教育関係者間のネットワークづくりに寄与することができた。 また、外国籍家庭支援研修では、研修終了後、受講者と市町村とのマッチングを実施し、外国籍家庭支援活動に繋げることができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	研修内容	回数	参加者数	保護者対応における傾聴・共感の姿勢、支援家庭の状況把握・必要情報の伝達能力の習得等に関する講義・事例検討・意見交換	3回	143人	研修内容	回数	参加者数	外国籍家庭の実態や課題の理解、やさしい日本語の活用や学校・行政と連携した支援等に関する講義、事例検討実践発表等	3回	100人	
研修内容	回数	参加者数													
保護者対応における傾聴・共感の姿勢、支援家庭の状況把握・必要情報の伝達能力の習得等に関する講義・事例検討・意見交換	3回	143人													
研修内容	回数	参加者数													
外国籍家庭の実態や課題の理解、やさしい日本語の活用や学校・行政と連携した支援等に関する講義、事例検討実践発表等	3回	100人													
【今後の取組】 地域で支える 家庭の教育力 向上事業	県	社会全体で家庭教育を支援する必要性を踏まえ、 地域の人材を活用した家庭教育支援に取り組む市 町村を支援する。	11,059 (国補)												
【前年度の実 施 状 況 及 び 成 果】 PTA 指導者研 修資料作成	県	<実施状況> PTA指導者の資質向上を支援するため、「PTA指導 者研修資料」を作成し、「家庭教育応援ナビ」に掲載 するとともに、県域PTAを通じて周知した。 【掲載内容】 ・研修テーマ「学校・家庭・地域社会の連携を担 うPTA活動の在り方」 ・研修内容及び話合いのための具体的な項目 ・参考資料 <成果> 「PTA指導者研修資料」を作成・周知し、指導者の 資質向上及び活動の充実を支援することにより、保	—												

		護者への家庭教育に関する学びの機会と情報の提供に寄与することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)																																		
【今後の取組】 PTA 指導者研修資料作成	県	「PTA指導者研修資料」の内容充実及び活用促進を図り、指導者の資質向上を支援する。	—																																	
【前年度の実施状況及び成果】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	<実施状況> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th><th>事業名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">水戸生涯学習センター</td><td rowspan="5">課題解決チャレンジ事業「家庭教育・こども・子育て応援プロジェクト」</td><td>子育て支援関係者会議（大洗町こども課、教育委員会等）</td><td>全4回 延べ8人</td></tr> <tr> <td>家庭教育学級全体研修会</td><td>全2回 延べ45人</td></tr> <tr> <td>家庭教育with地域人材（保護者同士のつながりづくり）</td><td>全8回 延べ235人</td></tr> <tr> <td>まなんでHAPPYプログラム（親子触れ合い活動）</td><td>全7回 延べ348人</td></tr> <tr> <td>専門家による支援員研修</td><td>全1回 延べ40人</td></tr> <tr> <td rowspan="5">鹿行生涯学習センター</td><td rowspan="4">課題解決チャレンジ事業「地域の活動者（プレーヤー）を巻き込んだ子育て支援」『地域活動者の参画による実践活動』</td><td>高校生等のボランティア及び活動者におけるブースの運営についての実践研修（『くるりん森 こどもの日フェスティバル』）</td><td>27人 （体験活動参加者 157人）</td></tr> <tr> <td>視察研修（『こどもナイトスポーツフェスティバル 2025』）</td><td>8人</td></tr> <tr> <td>高校生等のボランティア及び活動者におけるブースの運営についての実践研修（『くるりん森 夏祭り』）</td><td>16人 （体験活動参加者 217人）</td></tr> <tr> <td>開発委員会及び改善プログラム実施報告等（打ち合わせ、今後の活動についての情報交換等）</td><td>全4回 延べ37人</td></tr> <tr> <td>生涯学習ボランティアセンター事業</td><td>ボランティアニーズの高い分野の研修「託児実践研修」</td><td>延べ2人</td></tr> <tr> <td colspan="3">合計</td><td>766人</td></tr> </tbody> </table> <成果> 関係各機関との会議を計画的に実施し、家庭教育や子育て支援の連携を強化した。研修プログラムの開発・実施により、保護者の知識やスキルの向上、地域とのつながりが促進された。大洗町では、訪問型家庭教育支援事業をととした家庭教育支援及び	施設名	事業名	内容	参加者数	水戸生涯学習センター	課題解決チャレンジ事業「家庭教育・こども・子育て応援プロジェクト」	子育て支援関係者会議（大洗町こども課、教育委員会等）	全4回 延べ8人	家庭教育学級全体研修会	全2回 延べ45人	家庭教育with地域人材（保護者同士のつながりづくり）	全8回 延べ235人	まなんでHAPPYプログラム（親子触れ合い活動）	全7回 延べ348人	専門家による支援員研修	全1回 延べ40人	鹿行生涯学習センター	課題解決チャレンジ事業「地域の活動者（プレーヤー）を巻き込んだ子育て支援」『地域活動者の参画による実践活動』	高校生等のボランティア及び活動者におけるブースの運営についての実践研修（『くるりん森 こどもの日フェスティバル』）	27人 （体験活動参加者 157人）	視察研修（『こどもナイトスポーツフェスティバル 2025』）	8人	高校生等のボランティア及び活動者におけるブースの運営についての実践研修（『くるりん森 夏祭り』）	16人 （体験活動参加者 217人）	開発委員会及び改善プログラム実施報告等（打ち合わせ、今後の活動についての情報交換等）	全4回 延べ37人	生涯学習ボランティアセンター事業	ボランティアニーズの高い分野の研修「託児実践研修」	延べ2人	合計			766人	—
施設名	事業名	内容	参加者数																																	
水戸生涯学習センター	課題解決チャレンジ事業「家庭教育・こども・子育て応援プロジェクト」	子育て支援関係者会議（大洗町こども課、教育委員会等）	全4回 延べ8人																																	
		家庭教育学級全体研修会	全2回 延べ45人																																	
		家庭教育with地域人材（保護者同士のつながりづくり）	全8回 延べ235人																																	
		まなんでHAPPYプログラム（親子触れ合い活動）	全7回 延べ348人																																	
		専門家による支援員研修	全1回 延べ40人																																	
鹿行生涯学習センター	課題解決チャレンジ事業「地域の活動者（プレーヤー）を巻き込んだ子育て支援」『地域活動者の参画による実践活動』	高校生等のボランティア及び活動者におけるブースの運営についての実践研修（『くるりん森 こどもの日フェスティバル』）	27人 （体験活動参加者 157人）																																	
		視察研修（『こどもナイトスポーツフェスティバル 2025』）	8人																																	
		高校生等のボランティア及び活動者におけるブースの運営についての実践研修（『くるりん森 夏祭り』）	16人 （体験活動参加者 217人）																																	
		開発委員会及び改善プログラム実施報告等（打ち合わせ、今後の活動についての情報交換等）	全4回 延べ37人																																	
	生涯学習ボランティアセンター事業	ボランティアニーズの高い分野の研修「託児実践研修」	延べ2人																																	
合計			766人																																	

		家庭教育や子育て支援に関する支援情報を集約した子育て情報誌の発行に至った。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	
【今後の取組】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	引き続き、関係各機関との会議の実施、研修プログラムの充実、交流の場の提供、情報発信の強化等を行い、家庭教育に関する保護者への支援を図る。 また、高校生・市職員・地域ボランティア等の地域の活動者が、気軽に相談し合えるネットワークの構築や他団体の活動を参考に、新たな活動や活動内容に取り組む機運の醸成を図る。	—

(6) 多様な家庭環境に配慮した支援＜第17条関係＞

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]																																																																																																																																																																								
			今年度 当初予算額 [千円]																																																																																																																																																																								
【前年度の実施状況及び成果】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	＜実施状況＞	9,367 (国補)																																																																																																																																																																								
		1 市町村が抱える課題に応じた訪問型家庭教育支援の実施 (29市町村)																																																																																																																																																																									
		<table><tr><th rowspan="2">市町村名</th><th rowspan="2">支援員数(人)</th><th colspan="3">支援回数 (回)</th><th rowspan="2">事業開始年度</th></tr><tr><th>全戸訪問</th><th>保護者が集まる場での支援</th><th>個別支援</th></tr><tr><td>水戸市</td><td>11</td><td>70</td><td>29</td><td>12</td><td>H30</td></tr><tr><td>常陸大宮市</td><td>4</td><td>0</td><td>173</td><td>38</td><td>R 1</td></tr><tr><td>那珂市</td><td>8</td><td>468</td><td>0</td><td>0</td><td>R 6</td></tr><tr><td>小美玉市</td><td>4</td><td>0</td><td>2</td><td>13</td><td>R 3</td></tr><tr><td>高萩市</td><td>8</td><td>0</td><td>0</td><td>7</td><td>H28</td></tr><tr><td>鹿嶋市</td><td>8</td><td>473</td><td>1</td><td>22</td><td>H29</td></tr><tr><td>潮来市</td><td>8</td><td>300</td><td>0</td><td>0</td><td>R 4</td></tr><tr><td>行方市</td><td>8</td><td>157</td><td>2</td><td>7</td><td>H30</td></tr><tr><td>鉾田市</td><td>4</td><td>0</td><td>231</td><td>130</td><td>H29</td></tr><tr><td>土浦市</td><td>68</td><td>0</td><td>870</td><td>37</td><td>R 5</td></tr><tr><td>石岡市</td><td>6</td><td>0</td><td>458</td><td>4</td><td>H30</td></tr><tr><td>取手市</td><td>6</td><td>658</td><td>0</td><td>0</td><td>H30</td></tr><tr><td>牛久市</td><td>18</td><td>0</td><td>0</td><td>114</td><td>R 1</td></tr><tr><td>稲敷市</td><td>13</td><td>0</td><td>4</td><td>227</td><td>R 1</td></tr><tr><td>美浦村</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>108</td><td>H29</td></tr><tr><td>河内町</td><td>4</td><td>25</td><td>25</td><td>6</td><td>H30</td></tr><tr><td>結城市</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>9</td><td>R 3</td></tr><tr><td>下妻市</td><td>6</td><td>0</td><td>243</td><td>46</td><td>H29</td></tr><tr><td>常総市</td><td>10</td><td>0</td><td>92</td><td>5</td><td>R 3</td></tr><tr><td>筑西市</td><td>6</td><td>0</td><td>0</td><td>55</td><td>R 1</td></tr><tr><td>坂東市</td><td>12</td><td>0</td><td>0</td><td>140</td><td>H28</td></tr><tr><td>桜川市</td><td>7</td><td>0</td><td>343</td><td>0</td><td>R 3</td></tr><tr><td>八千代町</td><td>4</td><td>0</td><td>117</td><td>22</td><td>R 5</td></tr><tr><td>五霞町</td><td>8</td><td>35</td><td>70</td><td>10</td><td>R 1</td></tr><tr><td>境町</td><td>14</td><td>0</td><td>29</td><td>1</td><td>H29</td></tr><tr><td>合計</td><td>253</td><td>2,186</td><td>2,689</td><td>1,013</td><td></td></tr></table>			市町村名	支援員数(人)	支援回数 (回)			事業開始年度	全戸訪問	保護者が集まる場での支援	個別支援	水戸市	11	70	29	12	H30	常陸大宮市	4	0	173	38	R 1	那珂市	8	468	0	0	R 6	小美玉市	4	0	2	13	R 3	高萩市	8	0	0	7	H28	鹿嶋市	8	473	1	22	H29	潮来市	8	300	0	0	R 4	行方市	8	157	2	7	H30	鉾田市	4	0	231	130	H29	土浦市	68	0	870	37	R 5	石岡市	6	0	458	4	H30	取手市	6	658	0	0	H30	牛久市	18	0	0	114	R 1	稲敷市	13	0	4	227	R 1	美浦村	4	0	0	108	H29	河内町	4	25	25	6	H30	結城市	4	0	0	9	R 3	下妻市	6	0	243	46	H29	常総市	10	0	92	5	R 3	筑西市	6	0	0	55	R 1	坂東市	12	0	0	140	H28	桜川市	7	0	343	0	R 3	八千代町	4	0	117	22	R 5	五霞町	8	35	70	10	R 1	境町	14	0	29	1	H29	合計	253	2,186	2,689	1,013		※上記のほか、日立市、笠間市、ひたちなか市及び大洗町は本事業外で実施	
		市町村名					支援員数(人)	支援回数 (回)			事業開始年度																																																																																																																																																																
					全戸訪問	保護者が集まる場での支援		個別支援																																																																																																																																																																			
		水戸市			11	70	29	12	H30																																																																																																																																																																		
		常陸大宮市			4	0	173	38	R 1																																																																																																																																																																		
		那珂市			8	468	0	0	R 6																																																																																																																																																																		
		小美玉市			4	0	2	13	R 3																																																																																																																																																																		
		高萩市			8	0	0	7	H28																																																																																																																																																																		
		鹿嶋市			8	473	1	22	H29																																																																																																																																																																		
		潮来市			8	300	0	0	R 4																																																																																																																																																																		
		行方市			8	157	2	7	H30																																																																																																																																																																		
		鉾田市			4	0	231	130	H29																																																																																																																																																																		
		土浦市			68	0	870	37	R 5																																																																																																																																																																		
		石岡市			6	0	458	4	H30																																																																																																																																																																		
		取手市			6	658	0	0	H30																																																																																																																																																																		
		牛久市			18	0	0	114	R 1																																																																																																																																																																		
		稲敷市			13	0	4	227	R 1																																																																																																																																																																		
		美浦村			4	0	0	108	H29																																																																																																																																																																		
		河内町			4	25	25	6	H30																																																																																																																																																																		
		結城市			4	0	0	9	R 3																																																																																																																																																																		
		下妻市			6	0	243	46	H29																																																																																																																																																																		
		常総市			10	0	92	5	R 3																																																																																																																																																																		
		筑西市			6	0	0	55	R 1																																																																																																																																																																		
		坂東市			12	0	0	140	H28																																																																																																																																																																		
		桜川市			7	0	343	0	R 3																																																																																																																																																																		
八千代町	4	0	117	22	R 5																																																																																																																																																																						
五霞町	8	35	70	10	R 1																																																																																																																																																																						
境町	14	0	29	1	H29																																																																																																																																																																						
合計	253	2,186	2,689	1,013																																																																																																																																																																							

		2 スーパーバイザーの派遣 市町村が実施する訪問型家庭教育支援において、特に困難な問題を抱える家庭への支援の充実を図るため、専門的な知識と経験をもつ家庭教育支援スーパーバイザーを市町村が開催するケース会議等に派遣して指導・助言を行った。 ・派遣回数：11市町、延べ24回 3 好事例集の作成 訪問型家庭教育支援をさらに充実させるため、事業を実施している市町村の効果的な支援や工夫した取組などを好事例集（9事例）としてまとめ、全市町村へ配布した。 <成果> 各市町村の課題に応じた取組方法の提案や好事例集の提供により、市町村の理解が進み、29市町村において訪問型家庭教育支援を実施することができた。 また、各市町へのスーパーバイザー派遣により、訪問型家庭教育支援員の悩みや関係機関との連携について直接助言を行った。その結果、支援を行った家庭の97.0%で状況が改善した。 （教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室）	
【今後の取組】 地域で支える 家庭の教育力 向上事業	県	社会全体で家庭教育を支援する必要性を踏まえ、地域の人材を活用した訪問型家庭教育支援に取り組む市町村を支援する。	11,059 (国補)
【前年度の実 施状況及び 成果】 「いばらき教 育の日・教育 月間」シンポ ジウム	県	<実施状況> ○シンポジウムの開催 ・テーマ：情報化の進展と教育 ・日時：令和7年11月15日（土） ・会場：茨城県庁 講堂 ・参加者：県内在住の小中高生とその保護者、教育関係者 ほか ・内容 <基調講演> 演題 「作り方を作る」 講師 佐藤 雅彦（さとう まさひこ）氏 （東京藝術大学大学院名誉教授） <パネルディスカッション> モデレーター 生井 秀一 （茨城県立下妻第一高等学校・附属中学校校長）	972 (県単)

		パネリスト 多田 遥香 (株式会社 Griteen 代表取締役社長) 浅沼 琉音 (茨城県立水戸第一高等学校第2学年) 千葉 徹也 (茨城県教育庁学校教育部教育改革課 ICT改革推進室指導主事) <成果> 小中高生とその保護者、教育関係者を中心に275名が参加。参加者満足度は98%。子どもから大人まで幅広い世代が楽しく学びながら新たな視点を得られる良い機会となった。 (教育庁総務企画部生涯学習課)																
【今後の取組】 「いばらき教育の日・教育月間」シンポジウム	県	県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して本県教育の充実と発展を図ることにより、豊かな心と確かな学力を備えた明日の茨城を担う子どもたちを育成するとともに、生涯にわたって自ら学び、郷土を愛し、地域社会の形成に主体的に参画する人づくりを進めるため、現代的教育課題をテーマにシンポジウムを開催する。	1,200 (県単)															
【前年度の実施状況及び成果】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	<実施状況> ○地域連携協働事業創出事業県域フォーラム 県西生涯学習センターがホストとなり、他の4センターも同時にオンラインで基調講演（演題「あなたの近くで、不登校・ひきこもり支援を」）を視聴。その後、各センターにて座談会等を実施。 <table><tr><th>施設名</th><th>内容</th><th>参加者数</th></tr><tr><td>水戸生涯学習センター</td><td>・講義、グループワーク、交流会 「デジタルでつながる『居場所』づくり」</td><td>40人</td></tr><tr><td>県北生涯学習センター</td><td>・グループ協議 『『ここにてもいい』って思える場所、ありますか？』</td><td>26人</td></tr><tr><td>鹿行生涯学習センター</td><td>・事例発表 「学校に行けていないお子さんを見守る方々の居場所づくりについて」 ・座談会 「安心できる居場所、ありますか？」</td><td>47人</td></tr><tr><td>県南生涯学習センター</td><td>・事例発表及び意見交換会 「子どもの未来を考える ～私たちがつくる、学校のもう一つの教室～」</td><td>23人</td></tr></table>	施設名	内容	参加者数	水戸生涯学習センター	・講義、グループワーク、交流会 「デジタルでつながる『居場所』づくり」	40人	県北生涯学習センター	・グループ協議 『『ここにてもいい』って思える場所、ありますか？』	26人	鹿行生涯学習センター	・事例発表 「学校に行けていないお子さんを見守る方々の居場所づくりについて」 ・座談会 「安心できる居場所、ありますか？」	47人	県南生涯学習センター	・事例発表及び意見交換会 「子どもの未来を考える ～私たちがつくる、学校のもう一つの教室～」	23人	—
施設名	内容	参加者数																
水戸生涯学習センター	・講義、グループワーク、交流会 「デジタルでつながる『居場所』づくり」	40人																
県北生涯学習センター	・グループ協議 『『ここにてもいい』って思える場所、ありますか？』	26人																
鹿行生涯学習センター	・事例発表 「学校に行けていないお子さんを見守る方々の居場所づくりについて」 ・座談会 「安心できる居場所、ありますか？」	47人																
県南生涯学習センター	・事例発表及び意見交換会 「子どもの未来を考える ～私たちがつくる、学校のもう一つの教室～」	23人																

		<table><tr><td>県西生涯学習センター</td><td>・座談会 ・「居場所だと思った瞬間とその理由」 パネリストの体験や思いに耳を傾けながら、「居場所とは何か」を考える。</td><td>112人</td></tr><tr><td>合計</td><td></td><td>248人</td></tr></table>	県西生涯学習センター	・座談会 ・「居場所だと思った瞬間とその理由」 パネリストの体験や思いに耳を傾けながら、「居場所とは何か」を考える。	112人	合計		248人	
県西生涯学習センター	・座談会 ・「居場所だと思った瞬間とその理由」 パネリストの体験や思いに耳を傾けながら、「居場所とは何か」を考える。	112人							
合計		248人							
		<成果> 参加者同士が悩みや経験を共有して共感を深められたことに加え、講演では「デジタル支援」など新たな視点や前向きなメッセージが伝わり、「動こうと思った」といった声も生まれた。これらは今後の支援活動への意欲を高める成果として評価できる。							
【今後の取組】 県生涯学習センター指定管理者指定事業	県	各生涯学習センターが不登校や発達障害のある子、外国人など、各地域の状況や住民のニーズを捉え、多様な学びの機会を創出していく。	—						

(7) 相談体制の整備等<第18条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実施状況及び成果】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、14ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	9,367 (国補)
【今後の取組】 地域で支える家庭の教育力向上事業	県	【再掲】 今後の取組については、15ページ参照。	11,059 (国補)
【前年度の実施状況及び成果】 いじめ・体罰解消サポートセンター (いじめ問題対策推進事業)	県	<実施状況> 1 「いじめ・体罰解消サポートセンター」の運営 (各教育事務所) (1) 児童生徒・保護者が相談・情報提供できるホームページ「いじめなくそう！ネット目安箱」の設置 (2) 「いじめ解消サポート相談員」の配置 ・「いじめなくそう！ネット目安箱」等で寄せられた相談・情報は、市町村教育委員会等を通して学校へ連絡 ・学校は、寄せられた相談・情報について適切に対応	1,872 (県単)

		(3) 児童生徒・保護者向けの啓発 ・県教育委員会ホームページに掲載、茨城放送「みんなの教育」で広報 (4) 相談件数 <table><tr><td></td><td>いじめ相談</td><td>体罰相談 (疑いを含む)</td><td>合計</td></tr><tr><td>小学校</td><td>40件</td><td>7件</td><td>47件</td></tr><tr><td>中学校</td><td>20件</td><td>7件</td><td>27件</td></tr><tr><td>その他</td><td>20件</td><td>2件</td><td>22件</td></tr><tr><td>合計</td><td>80件</td><td>16件</td><td>96件</td></tr></table> 2 いじめ解消サポーター等による解消支援 いじめ解消サポーター（警察OB、公認心理師、社会福祉士、部活動指導者OB、思春期の専門家）を派遣した。 <table><tr><td></td><td>小学校</td><td>中学校</td><td>連絡協議会</td><td>合計</td></tr><tr><td>派遣回数</td><td>12回</td><td>35回</td><td>10回</td><td>57回</td></tr></table> <成果> いじめ・体罰解消サポートセンターには、いじめや体罰に関する相談が寄せられ、市町村立学校に関する相談に対しては、市町村教育委員会を通して各学校へ連絡し、対応をサポートすることができた。私立学校や県立学校に関しての相談については、関係各課に情報提供を行い、対応を依頼した。 いじめ解消サポーターについては、教育事務所と市町村教育委員会が連携し、各学校の状況に応じて、警察OBや心理の専門家を派遣した。サポーターの専門性を生かし、児童生徒・保護者への支援と教職員への助言を行い、対応のサポートを行うことができた。 （教育庁学校教育部生徒支援・いじめ対策推進室）		いじめ相談	体罰相談 (疑いを含む)	合計	小学校	40件	7件	47件	中学校	20件	7件	27件	その他	20件	2件	22件	合計	80件	16件	96件		小学校	中学校	連絡協議会	合計	派遣回数	12回	35回	10回	57回	
	いじめ相談	体罰相談 (疑いを含む)	合計																														
小学校	40件	7件	47件																														
中学校	20件	7件	27件																														
その他	20件	2件	22件																														
合計	80件	16件	96件																														
	小学校	中学校	連絡協議会	合計																													
派遣回数	12回	35回	10回	57回																													
【今後の取組】 いじめ・体罰 解消サポート センター（い じめ問題対策 推進事業）	県	いじめ等を早期に発見し、市町村、学校及び専門家と連携して、早期対応を支援する。 ホームページ上の「いじめなくそう！ネット目安箱」への書き込みやメールでの相談、電話・来所による相談対応を行う。	2,770 (県単)																														
【前年度の実 施状況及び 成果】 スクールカウ ンセラー配置 事業	県	<実施状況> スクールカウンセラーの配置 <table><tr><td colspan="2">配置校数</td><td>732校 (小学校等427校、中学校等210校、高等学校95校)</td></tr><tr><td rowspan="6">配置 形態</td><td rowspan="2">小中 学校等</td><td>年35週、週1回、1回あたり7時間</td></tr><tr><td>年32週、週1回、1回あたり4時間</td></tr><tr><td rowspan="4">高等 学校</td><td>年32週、週1回、1回あたり3時間</td></tr><tr><td>年29週、週1回、1回あたり3時間</td></tr><tr><td>年25週、週1回、1回あたり3時間</td></tr><tr><td>年20週、週1回、1回あたり3時間</td></tr><tr><td>年15週、週1回、1回あたり3時間</td></tr></table>	配置校数		732校 (小学校等427校、中学校等210校、高等学校95校)	配置 形態	小中 学校等	年35週、週1回、1回あたり7時間	年32週、週1回、1回あたり4時間	高等 学校	年32週、週1回、1回あたり3時間	年29週、週1回、1回あたり3時間	年25週、週1回、1回あたり3時間	年20週、週1回、1回あたり3時間	年15週、週1回、1回あたり3時間	293,642 (国補・県単)																	
配置校数		732校 (小学校等427校、中学校等210校、高等学校95校)																															
配置 形態	小中 学校等	年35週、週1回、1回あたり7時間																															
		年32週、週1回、1回あたり4時間																															
	高等 学校	年32週、週1回、1回あたり3時間																															
		年29週、週1回、1回あたり3時間																															
		年25週、週1回、1回あたり3時間																															
		年20週、週1回、1回あたり3時間																															
年15週、週1回、1回あたり3時間																																	

		<成果> 不登校事案では、児童生徒及び保護者と面談し、状況等を正確に把握することにより、相談者の悩みや不安を整理することができた。また、対応策等を話し合い、不登校状態の解消につなげることができた。 いじめ事案では、被害者に寄り添い、面談を通じて心のケアを図りながら、支援体制の強化につなげることができた。 教職員研修や児童生徒向け講演会を実施し、児童生徒のストレスマネジメントや教職員の対応力強化につなげることができた。 (教育庁学校教育部生徒支援・いじめ対策推進室)																	
【今後の取組】 スクールカウンセラー配置事業	県	いじめや暴力行為等の児童生徒の問題行動や不登校の未然防止、早期発見及び早期対応を図るため、公立小・中・高等学校等にカウンセリングに関し専門的な知識、経験を有するスクールカウンセラーを配置し、教育相談体制を充実させる。	309,705 (国補・県単)																
【前年度の実施状況及び成果】 教育相談事業	県	<実施状況> こどもの教育相談及び発達が気になる子どもの教育相談として、電話、来所相談を実施した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>こどもの教育相談</th><th>発達が気になる子どもの教育相談</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電話相談</td><td>1,215回</td><td>240回</td><td>1,455回</td></tr> <tr> <td>来所相談</td><td>484回</td><td>190回</td><td>674回</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>1,699回</td><td>430回</td><td>2,129回</td></tr> </tbody> </table> <成果> 職員や外部専門家による教育相談において、児童生徒及び保護者等の不登校や家庭での悩み、発達に関する悩み等についての話を丁寧に聴き、必要に応じて専門医による心の健康相談につないだり、知能検査を実施したりして、相談者の不安の軽減に努めるとともに、課題解決に向けて具体的に考える相談を進めた。その結果、相談者の気持ちや考えなどが整理され、精神的な安定を図ることや課題解決につなげることができた。 (教育庁学校教育部高校教育課)		こどもの教育相談	発達が気になる子どもの教育相談	合計	電話相談	1,215回	240回	1,455回	来所相談	484回	190回	674回	合計	1,699回	430回	2,129回	7,535 (県単)
	こどもの教育相談	発達が気になる子どもの教育相談	合計																
電話相談	1,215回	240回	1,455回																
来所相談	484回	190回	674回																
合計	1,699回	430回	2,129回																
【今後の取組】 教育相談事業	県	教育研修センターでの電話及び来所相談の充実を図り、不登校や情緒不安、いじめ、発達の遅れ等の悩みを抱える幼児児童生徒、保護者及び教職員等の相談に対応する。 (教育庁学校教育部教育改革課)	7,456 (県単)																

【前年度の実施状況及び成果】 早期教育推進事業	県	＜実施状況＞ 盲学校、聾学校に、視聴覚障害児早期教育指導員を配置し、0歳から就学前の視聴覚障害児に対して発達を促す指導を行うとともに、その保護者に対して望ましい親子関係づくりの支援を行った。 <table><tr><td></td><td>盲学校</td><td>聾学校</td><td>合計</td></tr><tr><td>延べ相談件数</td><td>162件</td><td>509件</td><td>671件</td></tr></table> ＜成果＞ 継続的な支援や相談を行うことにより、保護者の障害に対する理解を深めることができた。また、サテライト教室での実施により、実施校から遠隔地に住む乳幼児とその保護者の移動に係る負担を軽減することができた。 (教育庁学校教育部特別支援教育課)		盲学校	聾学校	合計	延べ相談件数	162件	509件	671件	9,128 (県単)																				
	盲学校	聾学校	合計																												
延べ相談件数	162件	509件	671件																												
【今後の取組】 早期教育推進事業	県	視覚又は聴覚に障害のある乳幼児に対し、全体的な発達を促す指導を行うとともに、養育についての保護者の相談に対応する。 県内4箇所(サテライト教室(視覚障害1箇所、聴覚障害3箇所))を設置し、実施校から遠隔地に居住する乳幼児とその保護者を対象に、相談及び指導・支援を行う。	9,164 (県単)																												
【前年度の実施状況及び成果】 少年非行防止活動の実施	県	＜実施状況＞ <table><tr><td></td><td>電話相談</td><td>メール相談</td><td>面接</td><td>合計</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>355件</td><td>227件</td><td>88件</td><td>670件</td></tr></table> (相談内容内訳) <table><tr><td></td><td>非行問題</td><td>学校問題</td><td>家庭問題</td><td>交友等</td><td>犯罪被害</td><td>健康問題</td><td>その他</td><td>合計</td></tr><tr><td>相談件数</td><td>314件</td><td>32件</td><td>28件</td><td>47件</td><td>90件</td><td>42件</td><td>117件</td><td>670件</td></tr></table> ＜成果＞ 相談に対する助言・指導を行ったほか、関係機関・団体と連携した継続的な相談に対応し、問題解決を図ることができた。 (警察本部生活安全部人身安全少年課 少年サポートセンター)		電話相談	メール相談	面接	合計	相談件数	355件	227件	88件	670件		非行問題	学校問題	家庭問題	交友等	犯罪被害	健康問題	その他	合計	相談件数	314件	32件	28件	47件	90件	42件	117件	670件	86 (県単)
	電話相談	メール相談	面接	合計																											
相談件数	355件	227件	88件	670件																											
	非行問題	学校問題	家庭問題	交友等	犯罪被害	健康問題	その他	合計																							
相談件数	314件	32件	28件	47件	90件	42件	117件	670件																							
【今後の取組】 少年非行防止活動の実施	県	少年サポートセンターの少年相談コーナーにおいて、少年の非行問題、犯罪被害等に関する相談に対応し、問題解決、健全育成を図る。	108 (県単)																												

(8) 広報、啓発等<第19条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]								
			今年度 当初予算額 [千円]								
【前年度の実施状況及び成果】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	<実施状況> 1 「茨城県家庭教育を支援するための条例」の広報・啓発 (1) 「家庭教育応援ナビ」への条例バナーの掲載 「家庭教育応援ナビ」トップページに条例バナーを掲載し、閲覧者への周知を図った。 (2) 周知活動 条例ポスターやのぼり旗等の展示、チラシや広報物品の配布を通して、条例の周知や研修等の機会に家庭教育の重要性等についての啓発を図った。 <table><tr><th>方法</th><th>内容</th></tr><tr><td>常設展示</td><td>教育研修センターや県立図書館、生涯学習センター、青少年教育施設、市町村、幼児教育施設、学校等でのポスターやのぼりの掲示</td></tr><tr><td>イベントでの周知</td><td>子育て支援団体が開催するイベントでの条例ポスターの掲示、条例広報物品や家庭教育支援資料の配布</td></tr><tr><td>研修会での啓発</td><td>家庭教育関係研修、生涯学習・社会教育研究協議会等での条例の説明</td></tr></table> <成果> 「家庭教育応援ナビ」への条例バナーの掲載や常設展示、子育て支援団体と連携したイベント、研修会等での広報・啓発活動により、「茨城県家庭教育を支援するための条例」の理解促進を図り、家庭教育の重要性について周知することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	方法	内容	常設展示	教育研修センターや県立図書館、生涯学習センター、青少年教育施設、市町村、幼児教育施設、学校等でのポスターやのぼりの掲示	イベントでの周知	子育て支援団体が開催するイベントでの条例ポスターの掲示、条例広報物品や家庭教育支援資料の配布	研修会での啓発	家庭教育関係研修、生涯学習・社会教育研究協議会等での条例の説明	1,557 (県単)
方法	内容										
常設展示	教育研修センターや県立図書館、生涯学習センター、青少年教育施設、市町村、幼児教育施設、学校等でのポスターやのぼりの掲示										
イベントでの周知	子育て支援団体が開催するイベントでの条例ポスターの掲示、条例広報物品や家庭教育支援資料の配布										
研修会での啓発	家庭教育関係研修、生涯学習・社会教育研究協議会等での条例の説明										
【今後の取組】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	「家庭教育応援ナビ」やイベント、研修等において家庭教育の重要性を啓発するとともに、市町村と連携し、園・学校・企業等における家庭教育学級や園内・校内研修支援等の機会を増やし、「茨城県家庭教育を支援するための条例」について教職員や保護者の理解促進を図る。	3,163 (国補)								
【前年度の実施状況及び成果】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、3ページ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課 就学前教育・家庭教育推進室)	1,557 (県単)								

【今後の取組】 就学前教育・家庭教育推進事業	県	【再掲】 今後の取組については、3ページ参照。	3,163 (国補)															
【前年度の実施状況及び成果】 「いばらき教育の日」推進事業	県	<実施状況> 各種広報媒体を活用し、生活習慣やしつけなど就学前教育や家庭教育の充実に向けた取組等を推奨した。 1 「いばらき教育の日」啓発活動の実施 <table><tr><th>区分</th><th>主な取組</th><th>実施取組数</th></tr><tr><td>県関係</td><td>県芸術祭、生涯学習フェスティバル、子ども伝統文化フェスティバル</td><td>233件</td></tr><tr><td>市町村関係</td><td>教育のつどい、子どもまつり、公民館まつり</td><td>1,138件</td></tr><tr><td>関係団体</td><td>あいさつ・声掛け運動街頭キャンペーン、子ども会リーダー研修会</td><td>45件</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>1,416件</td></tr></table> 2 「いばらき教育の日」推進協力事業所等の登録 - 登録企業数 257社 - 参加事業所数 1,755箇所 <成果> 県、市町村、関係団体等において様々な取組を実施した結果、家庭教育を含めた県民の教育に関する意識の高揚に寄与することができた。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	区分	主な取組	実施取組数	県関係	県芸術祭、生涯学習フェスティバル、子ども伝統文化フェスティバル	233件	市町村関係	教育のつどい、子どもまつり、公民館まつり	1,138件	関係団体	あいさつ・声掛け運動街頭キャンペーン、子ども会リーダー研修会	45件	合計		1,416件	972 (県単)
区分	主な取組	実施取組数																
県関係	県芸術祭、生涯学習フェスティバル、子ども伝統文化フェスティバル	233件																
市町村関係	教育のつどい、子どもまつり、公民館まつり	1,138件																
関係団体	あいさつ・声掛け運動街頭キャンペーン、子ども会リーダー研修会	45件																
合計		1,416件																
【今後の取組】 「いばらき教育の日」推進事業	県	「いばらき教育の日(11月1日)・教育月間(11月)」における県民の主体的な取組を促進し、社会全体で教育の重要性を再認識する契機とするため、普及啓発のための全県的な広報活動を展開するとともに、趣旨に賛同する民間企業の登録制度『「いばらき教育の日」推進協力事業所等登録制度(サポートカンパニー)」への登録を促進することにより、県民の教育に対する関心や意識の高揚を図る。	1,200 (県単)															
【前年度の実施状況及び成果】 非行防止教室の実施	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、7ページ参照。 (警察本部生活安全部人身安全少年課)	—															
【今後の取組】 非行防止教室の実施	県	【再掲】 今後の取組については、8ページ参照。	—															

(9) 家庭教育を实践する日等<第22条関係>

事業名	事業主体	事業の内容	前年度 最終予算額 [千円]
			今年度 当初予算額 [千円]
【前年度の実 施状況及び 成果】 「いばらき教 育の日」推進 事業	県	【再掲】 事業概要、実施状況及び成果については、15ペ ージ参照。 (教育庁総務企画部生涯学習課)	972 (県単)
【今後の取組】 「いばらき教 育の日」推進 事業	県	【再掲】 今後の取組については、16ページ参照。	1,200 (県単)

4 その他

1 条例に関連する法令等の制定・改廃の動向 なし
2 国・県における施策の見直し等の動向 なし
3 条例の運用上の課題 なし
4 条例の改廃の必要性の有無 なし
5 その他 なし